

宮城県環境影響評価マニュアルの改定について
 ー人と自然との豊かな触れ合い・環境負荷分野ー

1 これまでのマニュアル策定状況

年度	環境影響評価マニュアル名	備考
H11	宮城県環境影響評価マニュアル	策定
H13	動物・植物・生態系	改訂
H14	公害質（大気汚染・水質汚濁・騒音・振動など）	改訂
H15	事後調査	改訂
H16	人と自然との豊かな触れ合い・環境負荷分野	改訂
H17	環境保全措置	改訂
H18	方法書	改訂
H19	準備書・評価書	改訂
H20	動物・植物・生態系	H13版を改訂
H21	大気・水・土壌その他の環境 [公害質（大気汚染・水質汚濁・騒音・振動など）]	H14版を改訂

※「H19.4 技術指針の改正」に伴う対応は、H18以降の改訂で対応

※現在は、7つのマニュアルで運用されている。（冊子としては、6分割されている。）

2 今年度の改訂予定について

平成19年技術指針の改正に合わせた改訂を平成18年度の「方法書」から対応しており、これまで7つのマニュアルのうち4つを改訂している。

今年度は、未対応の3つのうち、調査手法の参考として使用される「人と自然との豊かな触れ合い・環境負荷分野」について改訂することとした。

「事後調査」及び「環境保全措置」については、次年度以降に改訂を予定している。

3 今年度の改訂内容について

主な改訂点は、下記のとおり

①環境要素別の構成から調査作業手順の構成に変更

②H19.4.2 技術指針に係る変更

- ・事業特性及び地域特性の把握
- ・調査の手法
- ・予測の手法
- ・検討結果の整理

③景観及び触れ合い活動の場

- ・里地里山保全活用行動計画(案)を参考文献として加える。

④その他 参考文献の更新

4 宮城県環境影響評価マニュアル検討部会委員の指名について

「環境影響評価技術審査会の運営に関する規程」の第5条第2項により、部会に属すべき委員及び専門委員は、技術審査会の委員及び専門委員の中から、会長が指名し、また、第2項により部会長は、部会に属する委員の互選によりこれを定めることとなっている。

【改訂するマニュアルの環境要素】

(1) 人と自然との豊かな触れ合い

① 景観

② ふれあい活動の場

(2) 環境負荷分野

① 廃棄物等

② 温室効果ガス等

平成22年度の検討部会指名委員名簿

氏名	所属
菊池立	東北学院大学 教養学部教授
斎藤洋子	(元)仙台白百合女子短期大学 教授
平吹喜彦	東北学院大学 教養学部教授
松山正将	東北工業大学 工学部教授
山本玲子	尚絅学院大学 総合人間科学部教授

検討部会委員 50音順

[参考]平成16年度の「人と自然との豊かな触れ合い・環境負荷分野」改訂時の検討部会委員名簿

氏名	所属
斎藤洋子	仙台白百合女子大学 人間学部非常勤講師
○長谷川信夫	東北学院大学 工学部教授
松山正将	東北工業大学 工学部助教授
山本玲子	尚絅学院大学 総合人間科学部教授

○：検討部会会長 50音順